

東日本大震災復興支援松戸・東北交流プロジェクトニュース “黄色いハンカチ”

【発行者】

松戸・東北交流プロジェクト(代表:古宮保子)
〒271-0092 松戸市松戸 1834-5 小川ビル 2階
TEL: 047-710-5519 FAX: 047-710-5546
E-mail: yellowhandkerchief1834@gmail.com

交流サロン利用者の会「菜の花」が旭市へ行く！ 3.11の状況と今の状況を語り合う

仙台から避難をしている信濃勇三さんが代表している交流サロン黄色いハンカチ利用者の会「菜の花」は11月19日(木)千葉県旭市の復興状況の視察と現地の方との交流を目的としたバスツアーを企画。東日本大震災のメモリアルとその教訓を活かした防災教育に関する事業を中心に活動しているNPO法人光と風の協力で刑部岬や目の前が海岸線のいいおか潮騒ホテルと併設されている旭市防災資料館を訪問しました。



現地 NPO の光と風の高橋さんもバスに乗り津波タワーなどを視察。



いいおか潮騒ホテルの交流会会場で挨拶をする信濃勇三代表



九十九里浜が一望できる刑部岬展望館で3.11の様子を聞く参加者の皆さん

<参加者の声>

- ・九十九里浜の海は見る事ができて安心できたが、3.11の記録動画の津波シーンはショックで見れなかった。
- ・現地の方々の取り組みについて元気に活動していたので、とてもびっくりしました。勇気をもらえました。
- ・道の駅の食材の安さに驚きました。また、行きたいです。
- ・バス中でも同郷の音が聞けて楽しかったです。



避難者の体験記

連載！私はあの時こうだった 小松松子さん (陸前高田市) その2

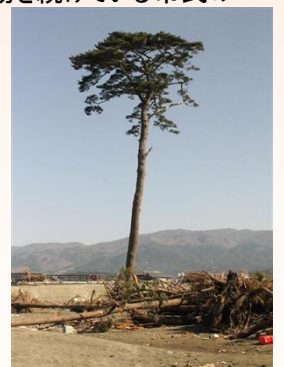
被災者の方に、3.11の貴重な体験を一人でも多くの皆さんに忘れないで知って頂き語り継ぐことで今後も起こりうるであろう大災害に対してどんな心構えができるのか？自分自身に問いかけて頂けたら幸いです。

その後、外に出てみると街は壊滅状態、涙がどっと出た。食器と言って湯呑を1ヶづつ配られ、その湯呑に小さいおにぎりを並んで一つ受け取った。娘が気がかりで、娘家族も流されたのか？

連絡取れず三日目の夜薄明りの体育館で誰かを探している二人の人影が、よく見ると娘夫婦だった。心配して探しに来てくれたのだった。思わず抱き合って泣いた。

孫は高校三年生でテニスのため市民体育館で練習していた。先生が来て「ここは危険だから第二グラウンドに逃げろーッ！」と言われ夢中で逃げたそうだ。市民体育館は指定の避難所になっていたので大勢の人々が入っていくのを孫は見たとのこと。だがその人達は全員犠牲となった。私も4人友達を失った。娘家族は今、仮設に入っているが復興住宅に申し込み、その孫も今は大学4年生。いずれ生まれ育った陸前高田に貢献したいと国家試験目指して頑張っている。今は主人と二人で松戸の借り上げ住宅に住んでいますが、息子が近くに住んでく

るのでいつも家族が来てくれています。主人は去年、体調を崩し入院、現在は週一でデイサービスに行くようになりましたが、天気の良い日は散歩にも行き安心しています。私は黄色いハンカチに時々行き皆さんと一緒にとても楽しい時間を過ごしています。サロンに来る人々、支援活動を続けている市民の方々、皆良い人ばかり又新しい友達も出来、本当に嬉しいです。岩手に帰りたい気持ちと主人の病気を考えると陸前高田も仮設の状態、医師の入れ替わりも多いとの事、迷ってはいますが、主人の面倒を見ながら日々を大切に頑張ろうと思っています。陸前高田の一日も早い復興願っています。



news

♪ブログが新しくなりました。月刊ニュースで載せきれなかった出来事や写真の掲載予定です。アドレスは <http://blogs.yahoo.co.jp/yellowyellow1834> です。宜しくお願いします。

(お詫び)2015年11月1日号の1面で忘年会の日程を12月19日とお伝えしましたが、17日(木)へ変更です。

みんなの広場

タベの出来事、家で寛いでいると突然、バッカカマキリの幼虫が入ってきた。我が家の一員の猫に見つからないように思っていたらなんと今朝もいた。驚き外に逃がしてあげた。猫の恩返しは聞いたことがあるけど、バッカカマキリの恩返しはどうか？期待したい位昨今、人間より動物の方が余程心優しく癒されるとするのは私だけじゃない様な気がする。さて、今晚何しよう？今日は魚が高いのでカレーライスに決めた。松戸に来たばかりの頃はとてもなにもする意欲が湧かなかったけど、今晚は美味しく作ろう。

仙台市 70才代 女性

黄色いハンカチの皆様いつも明るい笑顔で迎えて頂きありがとうございます。

コーヒー、お茶、お菓子、お昼ご飯もを皆さんと一緒に食べ気兼ねなく大きな声でおしゃべり、笑って、歌って本当に楽しい一日を過ごし心から感謝してます。ここでは大勢の方々とお会いする楽しさを見つけました。これからも第二のふる里でみなさんと元気で自分の体を労り楽しくいきたいと願ってます。

大船渡市 80才代 女性

原発事故で精神的にも物質的にも大きな損失を被った私達は、被害者、被災者と言われる。

放射能から逃れ、避難者でもある。難民とも言われた。えっ？と思ったが、世界のあちこちで発生している戦火を逃れる人々と同じ？安心して住めない土地を離れ、わずかな荷物を持って安住の地を求めてさまよう。流浪の民、ジプシーである。4回5回の移動など、少ない方なのだろう。10回以上の知人もいる。私はあと何回？「疎開支援の会」があると聞いた時は、本当にびっくり。改定版の広辞苑にはきっと追加されているだろう。「疎開:2011年以降、放射能から身を守るため、都会へ多くが避難すること」

南相馬市 60才代 女性

4年7ヶ月が経過、避難者として位置づけされた現在、いつも思うのは他の同じ日本国民として受け身の立場だけでなく、自分に一体何が出来、又少しでも役立つことがあるのか？避難者から生活者としてシフトして行く方向を見出して行きたいと思っているけど、国は機会ある度に自立、生活再建という。今の現状ではその具体的な一歩さえ得られていない人々が大勢存在するというのに日々更新する呆れた国内の諸問題、世界規模で起こるテロ、オリンピックの件など東北の真実の姿を無視して招致からしてそれは始まっていたが、今もどんどん進んで行く様々な閣議決定はまたしてもである。カモフラージュに騙されてはいけない。事実を直視し声を上げていこう。それほど事態は深刻である。

南相馬市 60才代 女性

避難者の「先の見えない不安」から少しでも気持ちが和らぎ心が軽くなるように願いながら投稿のコーナーを作りました。日々の暮らしで感じた想い、不安や不満、本音なんでもOKです。匿名で結構です。是非お便り下さい。又、質問などありましたら、内容によっては専門家におつなぎします。(FAX、メール、お葉書、手紙にて受付中)

保子の窓

下藤さんから柿を頂きました

和名ヶ谷で農家をしている下藤さんの農園から柿をもらいに佐藤利雄さんが柿の収穫作業を行いました。



下藤さん佐藤さんありがとうございました。

松戸・東北交流サロン「黄色いハンカチ」12月の予定

毎週火水木 10時～16時オープン中。利用は1回100円です。

12月1日(火) 歌の日 皆で楽しく歌いましょう

担当:前田洋子さん

12月3日(木) 13時30分～15時30分

チャリティー歌声喫茶 会費500円

12月8日(火) 相談デー

就職・税金・介護・原簿補償・～どんなことでも～

相談員:古宮保子

12月9日・23日(水) 13時30分～

初めての**困窮教室**～一から教えます～

市民ボランティア講師:今田靖雄さん

12月15日(火) 13時30分～

手芸の日 端切れで作る**万能ポーチ**

担当:戸丸栄子さん

12月17日(木) 14時～

忘年会(※申し込み要)

～みな様の参加をお待ちしています～

12月22日(火) 自主避難者交流の日

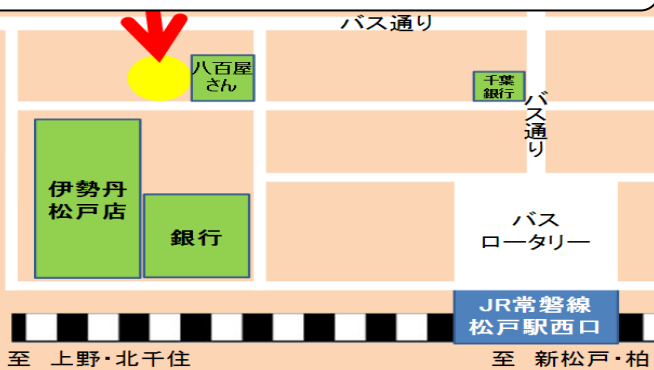
～語り合おう私たちのこれから～

12月24日(木) 年末最終日

※12月25日(金)～1月4日(月)まで年末年始休み 2016年の最初の日は5日(火)です。

松戸・東北交流サロン「黄色いハンカチ」アクセスマップ

松戸駅西口から徒歩5分(八百屋さんの隣のビル2Fです。)



2015年度サポーター会員募集中!

松戸・東北交流プロジェクトでは、千葉県に避難をしている皆さんと交流・支援をする活動をしています。この活動を応援していただくサポーターを募集しています。交流サロン黄色いハンカチで受付をしています。

個人:1口1000円 法人・団体:1口5000円